

◆沖合底曳網兼イカ釣り漁船

22年ぶりの新造船「第一幸榮丸」お披露目

暑さ厳しい8月29日、兵庫県の北西部に位置する美方郡新温泉町浜坂港において、浜坂漁業協同組合所属の有限会社第一漁業の新造船「第一幸榮丸」(144トン)がお披露目された。当日は、新しい船出をお祝いするため、地元住民のほか、関係者ら約300人が集まり、海員組合からは高橋健二中央執行委員と浦隆幸関西地方支部長が参列した。

新温泉町浜坂の発展と後継者につなげる 「橘の舞」保存協会と川越伸二漁労長

午前9時、色鮮やかな74旗の大漁旗を掲げた本船が勇壮なマーチの流れる港内に入港すると、集まった関係者らが一斉にカメラを向けた。

本船が浜坂港北岸壁に係船すると、航海の安全と大漁を願う神事が執り行われ、地元青年団により「橘の舞」が披露された。

本船は、国の漁業構造改革総合対策事業「もうかる漁業」を活用し、島根県の福島造船所で建造され、最新の航海・操業設備に加え燃費の向上も大幅に図られている。

新造船就航にあたり、船主船頭の川越伸二氏は「さまざまな関係者の協力を得て、22年ぶりに新造船を建造することができた。コロナ禍の中で厳しい船出となるが、新温泉町浜坂の発展と、若い後継者のために頑張りたい」とあいさつを述べた後、新造船就航を祝し、鏡開きが行われた。続いて、船首のくす玉が割られると同時に、本船からはお祝いの餅まきが行われ、北岸壁には人々が集まり、大いににぎわった。最後に、本船の見学会では日頃見ることのできない最新漁船を一目見ようと、見学希望者が長蛇の列をなした。

9月はイカ釣り、11月からはカニ漁へ

「第一幸榮丸」は9月にイカ釣り漁へ出漁し、その後、操業設備を底曳網漁仕様に切り替え、11月初旬にカニ漁へ出漁する。本船の今後の活躍が期待される。

「海員だより」

お手数ですが、毎月1度だけ、そのまま返信をお願いします。

<各船の海員だよりメール版の送信状態を確認します>

洋上で安全通航・安全操業の努めている組合員の皆さま、お疲れ様です。海員だよりメール版を受信していただき、ありがとうございます。海員だよりメール版は、海員組合本部の広報室メールアドレス(kaiin@jsu.or.jp)から送信していますが、メールが各船へ正常に届いていることを確認するために、各船からメールをそのまま返信していただく作業をお願いしています。月に1度だけ、送信されました海員だよりを、「返信」していただければ、船舶のメールアドレスの変更の有無などを確認できますので、よろしく願いいたします。(毎月、1日から月末までの間に1度だけ「返信」作業をお願いします。広報室